

ソフト女子 JDリーグ

ソフトボール女子のJDリーグ第10節第1日は1日、大垣北公園野球場で大垣大会(岐阜新聞社、岐阜放送後援)

県関係分	実	女	鹿	田	(大)	ロ	バ	ー	ツ	ー	長	井
日立(11勝8敗)	0	0	0	2	0	0	1	1	3			
大垣ミナモSC(4勝15敗)	0	0	0	0	4	0	×	1	4			

(目)坂本美、マクイリン、坂本実一、女鹿田(大)ロバーツー長井、▽本塁打 坂本結(目)内田(大)▽三塁打 岩月(大)▽二塁打 女鹿田(目)

ソフトボール女子のJDリーグ第10節第1日は1日、大垣北公園野球場で大垣大会(岐阜新聞社、岐阜放送後援)

が開かれ、県勢の大垣ミナモSCは4-3で日立(神奈川)

で、順位は東地区8位で変わらず。大垣ミナモは四回に先制を許し0-2とされたが、五回に4点を挙げ逆転。先発のエレン・ロバーツ(西濃運輸)は粘りの投球で反撃を1点に抑えて完投した。

次戦は第10節第2日の2日午後3時から、大垣北公園野球場でホンダ(栃木)と対戦する。

本社最高顧問の杉山氏が始球式

大垣ミナモSCと日立の一戦を前に、岐阜新聞社の杉山幹夫最高顧問(96)が始球式を行った。大垣ミナモSCのユニホームに身を包んだ杉山氏は年齢を感じさせない力強い

大垣ミナモ逆転勝ち

後半戦、上々スタート

勝利の瞬間

大垣ミナモSCが上々の後半戦スタートを切った。東地区2位タイと強豪の日立相手に逆転勝ち。五回に打線がつながり、一挙4得点のビッグ



日立×大垣ミナモSC 5回裏大垣ミナモ2死一塁、勝ち越しの2ランを放つ内田 大垣北公園

3番内田が千金2ラン

グイニングをつくった。門松浩孝監督は「つなぐところでした。よく勝った」と興奮気味に話した。好機であと一本が出なかった前半戦とは異なる姿を見せた。2点を追う五回、先頭の長井美侑(西濃運輸)が安打で出塁し、1死二塁の好機で代打の新人・岩月優衣(サンメッセ)。9球粘り、10球目を捉えると打球は右翼への大飛球となり、右翼手のクラフをはじいて適時三塁打に。さらに須藤麻里子(神鋼造機)の犠飛で同点にしてみせた。反撃はこれで終わらなかった。2死ながらも敵失で走者を置き、打席には3番内田小百合(大垣西濃信用金庫)。「新人の岩月が思い切った打撃を見せてくれた。次は自分の番」。外角の直球を迷わず振り抜くと打球は中堅スタンドへ一直線。今季初本塁打は値千金の勝ち越し2ランとなった。接戦をものにし、強豪を撃破した大垣ミナモ。2日のホンダに勝てば、今季初の地元での連勝となる。内田は「次も全員で一球一球に集中したい」と意気込んだ。(杉原康仁)



大垣ミナモSCのユニホーム姿で始球式に臨む杉山幹夫岐阜新聞社最高顧問 大垣北公園